

平成22年11月16日
東日本高速道路株式会社
横浜工事事務所

横浜環状南線横浜市南部地域猛禽類調査検討会 の中間とりまとめ（その11）の報告について

NEXCO東日本 横浜工事事務所（横浜市旭区、所長：小谷充宏）は、平成22年11月10日に「第15回横浜市南部地域猛禽類調査検討会」を開催し、平成22年の調査結果を含めた中間とりまとめを行ったので、お知らせします。

この検討会ならびに中間とりまとめの報告は、旧JH時の横浜工事事務所に、横浜市南部地域で希少野生動植物種に位置付けられているオオタカの生息に関する情報提供が有り、平成12年2月からオオタカに関する調査を行うとともに、同年8月に「横浜市南部地域猛禽類調査検討会」を設置してから毎年行っております。

1. 事業概要

横浜環状南線（以下「横環南」）は「首都圏中央連絡自動車道」の一部をなすとともに、神奈川県や横浜市の総合計画などにおいても重要な道路として位置付けられています。

また、横環南は横浜の都心部から半径約10～15kmに位置し、横浜市郊外の各区の相互連絡を容易にし、市の一体化を図るとともに、横浜中心市街地の交通混雑の緩和を図ることを目的に計画された「横浜環状道路」の一部をなす重要な自動車専用道路です。



首都圏幹線
道路網図



主要道路
ネットワーク図

横環南の計画概要

起点～終点	横浜市金沢区釜利谷町～ 横浜市戸塚区汲沢町
設計速度	80km/h
延長	約8.9km (横浜市域約8.4km/ 鎌倉市域約0.5km)
車線数	6車線



横浜市南部地域猛禽類調査中間とりまとめ（その11）の概要

平成22年11月

横浜市南部地域猛禽類調査検討会

1. 検討会の概要

神奈川県より横浜市南部地域におけるオオタカの生息に関する情報提供があり、事業者として、今後の横環南の本格的な工事に向けより慎重を期すために、平成12年2月から調査を開始しました。

また、平成12年8月に「横浜市南部地域猛禽類調査検討会」を設置して繁殖・生息状況調査等の調査の結果を踏まえ、保全対策について検討を行っており、第15回検討会を平成22年11月10日に開催いたしました。

表 1-1 検討会名簿（平成22年11月現在）

	氏 名	所 属
委員長	柳澤 紀夫	(財)日本鳥類保護連盟 理事
委 員	川手 隆生	神奈川野生生物研究会 事務局長
	和泉 晶裕	国土交通省横浜国道事務所長
	小谷 充宏	NEXCO東日本 横浜工事事務所長
アドバイザー	柴田 敏隆	(特非)神奈川県自然保護協会 副理事長

2. 平成22年の繁殖・生息状況調査結果

(1) 現地調査の期間

表 2-1 調査の項目と期間

調査項目	調査期間	備考
繁殖・生息状況調査	3～8月	

(2) 繁殖・生息状況調査

これまで営巣が確認されていた巣（1箇所）において繁殖を確認しました。
また、繁殖状況調査の結果から、今年は3羽の巣立ちがあったと推測されます。

3. まとめ

今期も、繁殖・生息状況調査を行い、各調査結果の蓄積並びに解析を行いました。今後も道路と自然環境との調和に十分配慮した取り組みを進めるとともに、必要な調査及びこれまで検討してきた保全対策を実施して参ります。

※オオタカの飛翔状況・営巣地等に関する情報の公表は、巣の位置が限定され、密猟のほか、カメラマン、観察者等多数の人々が営巣地の近辺に出入りを繰り返す、オオタカの繁殖を阻害する恐れがあるため差し控えさせていただきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

以 上